授業開始♫

「生物基礎」担当 Osami Nabeta
00 オリエンテーション①
http://blog.goo.ne.jp/bio_ascidian

授業の目的　授業の主役である生徒の皆さんに、予め知っておいて欲しいこと（授業の幹・枝葉）を伝える。

授業の幹

0…何事においても「目的」は大事

目的ー目標（課題）ー方法ー結果ー評価　　※目的と評価が一致するようにします。
「方法」は任されています。多様な皆さんの多様な方法で構いません。
・目的、目標に応じた方法で取り組んで下さい。
・結果をフィードバックし、より良い方法をさらに検討・工夫して、実行して下さい。

1…授業の大前提「自分も他の人も大切な人」

自分らしさをお互いに認め合える関係をつくる。
自分を見捨てず、他の人も見捨てないー折り合いをつける。

2…クラス授業としての目的「学ぶ集団を作るー自分も他の人も伸びる」

学びを広げ、深めるには「人」が必要です。学びを定着させるには「孤独」が必要です。
授業で最も有効なツールは、クラスの人たちの頭脳を互いに活用することです。

3…教科学習としての目的「本当にわかる」

学びの継続、教養（リテラシー）としての学習です。
ひとつの目安は「他の人に説明できる」ことです。ー授業方法や考査内容も関係します。

授業の枝葉

・期待する授業のイメージ

みんなで創り上げる
自分の存在が認められる
安心して学べる/失敗できる　　そんな時間と空間でありたい、と願っています。

・授業の進め方（標準）

①授業の目的・目標の確認ー5〜0分　　※事前に伝えて減らす方向で
②活動ー35〜45分　　※増やす方向で
③授業の評価、次への課題ー10〜5分　　※減らす方向で

・準備するもの

〔必需品〕教科書（東京書籍）　授業プリント（ファイルに収納すること）
〔任意〕図説（第一学習社）　復習・整理用ノート（できるだけ作った方が良さそうです）
〔使用可能〕ー携帯端末・電子辞書、専門書など；基本的には使わなくてもできます。

・履修と評価

⑴履修ー評価を得る前提条件

授業に出て、目的を意識して取り組んで下さい。欠席数が多いと未履修になります。

⑵記録上残る「学年末5段階評定」は、次の２つの考査で算出します

学年末考査（３月実施・オリジナル作問ー言語表現・知識活用力を求める）
学力スタンダード学力調査（２月中旬実施・東京都教育庁指導部作問ーマークシート）

※第１学期評定は、第１学期中間・期末考査で、第２学期評定は、第２学期中間・期末考査で、それぞれ算出します。